

# ミュージックプロ V5

## MUSIC PRO for Windows V5

弊社が開発および発売しております Windows 用コンピュータ音楽ソフト、ミュージックプロが V4 から V5 へとバージョンアップいたします。

ミュージックプロは、その楽譜作成の容易さ、操作のわかりやすさを最大の特徴として、長き年月に渡りまして音楽愛好家の皆様にご愛用していただいております作曲、編曲、演奏、印刷用コンピュータ音楽ソフトです。

コンピュータ画面に表示された五線に、まるで紙の五線紙にペンで音符や休符を書くがごとく、自由に音符や休符などの音楽記号を入力して楽譜を作成できます。

一見なんでもない当たり前の機能である「自由に音符を書ける」ということが、ミュージックプロの特徴ですが、これによりコンピュータ操作が苦手な方や、楽譜が苦手な方、年齢的に子供からお年寄りまで幅広い層の皆様にそれぞれのレベルに合わせての作曲や楽譜作りをお楽しみいただいております。



今まで分かれていた「PLUS 版」「標準版」「小学生版」がひとつの版に統合されました。

### パッケージ販売

ミュージックプロ V5 18,800 円（税抜き価格）

Windows 用パッケージ製品

CD 1 枚、登録カード、導入ガイド

以下のプラグインソフト3種を同梱

歌じまん

歌じまん 2 <ワンダーホルン>

MusicXML ツール

### ダウンロード販売

ミュージックプロ V5（プラグインソフト別）9,800 円（税抜き価格）

プラグインソフト「歌じまん」1,500 円（税抜き価格）

プラグインソフト「歌じまん2<ワンダーホルン>」1,500 円（税抜き価格）

プラグインソフト「MusicXML ツール」1,500 円（税抜き価格）

それでは、新発売されるミュージックプロのいろいろな機能を、V5 になって新しく追加された機能も含めてご紹介いたします。

## ミュージックプロ V5 の特徴

- ♪ 絵を描くような感覚でのわかりやすい楽譜作成
- ♪ 男女の声による歌う機能と楽器音（MIDI）での演奏
- ♪ 多彩なリズムパターンとコードネームによる自動伴奏機能
- ♪ 携帯で読み取って聴ける QR コード付き楽譜印刷
- ♪ 全ページの楽譜サムネールや楽譜見開き表示機能
- ♪ 楽譜の任意サイズ表示と楽譜サムネール表示コントロール
- ♪ 楽譜の PDF ファイル生成機能
- ♪ 高度な移調および楽譜清書機能
- ♪ 演奏時の音楽記号シンクロ表示やカーソルモニターによる入力確認
- ♪ Word などワープロソフトへのメタ画像楽譜の貼り付け
- ♪ MusicXML ファイルでインターネット対応
- ♪ MIDI キーボードからの楽譜作成
- ♪ スタンダード MIDI ファイルを楽譜化
- ♪ MUSIC PRO シリーズならではの豊富なデータ活用

## ミュージックプロ V5 の動作環境

- ・ OS : 日本語 Window XP SP2 / 日本語 Windows Vista
- ・ ハードディスク空き容量 : 100MB
- ・ 必要なメモリ容量 : XP では 256 MB 以上、Vista では 2GB 以上の RAM
- ・ 音源 : ソフトシンセサイザー、サウンドカード、各種 MIDI 音源など
- ・ CD-ROM ドライブ : パッケージ版をインストールする場合に必要

## ミュージックプロ V5 の標準価格

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| ・ パッケージ版（プラグイン同梱）      | 18,800 円（消費税別） |
| ・ ダウンロード版（プラグイン別売）     | 9,800 円（消費税別）  |
| ・ プラグイン「歌じまん」          | 1,500 円（消費税別）  |
| ・ プラグイン「歌じまん2ワンダーホルン版」 | 1,500 円（消費税別）  |
| ・ プラグイン「MusicXML ツール」  | 1,500 円（消費税別）  |

## 機能詳細

### ●入力機能の特徴

#### ★絵を描くような感覚での楽譜作成

鉛筆を持ち、五線紙に向かって作曲する感覚で楽譜作成、曲作りが可能です。楽譜のどこにでも自由に各種音楽記号を書き入れ、コンピュータに実際の奏者が楽譜を見て演奏するかのようシミュレートさせることができます。

代表的なメロディ譜やピアノ譜などはあらかじめテンプレートで用意しています。各種音楽記号もパレットの中から選び出し五線紙に貼り付け、すぐに演奏に反映させることができます。

最大 40 パートまでのフルスコアを作成できます。また MIDI 音源のマルチポートにも対応していますので、16 パート以上の本格的な演奏も楽しめます。さらに全パートを同時に画面表示して、全体の構成を考えながらエディット可能です。

#### ★歌詞の行入力 <V5アップデート機能>

一行の歌詞をテキストで先行入力し、自動的に音符に貼り付けます。

#### ★五線のレイアウトの自由度がアップ <V5アップデート機能>

五線の表示がもっと自由になって、段の途中が切れている五線や、段の途中で終わっている五線を表示できるようになりました。ページに余白があっても強制的に改ページができるようになりました。

#### ★MIDI キーボードからの楽譜作成

MUSIC PRO for Windows PLUS V4 では MIDI キーボードからの演奏を譜面にすることができます。

リアルタイムで弾いたもの、あるいは MIDI キーボードの鍵盤に各種音楽記号を割り振ってのステップ入力など、マウスでの楽譜作成よりもキーボードを弾くことのできる人ならずとスピーディーな作業ができます。

#### ★スタンダード MIDI ファイルを譜面化

スタンダード MIDI ファイル (SMF) を読み込んで楽譜化できます。

ただし SMF は演奏データですので、ポリフォニックで複雑にパートが入り込む曲や、右手左手が交錯するようなピアノ譜などは譜面化の際、イメージとは大きく異なる場合がございます。あくまでも SMF の譜面化は楽譜作成のための補助入力手段としてお考えください。

## ●編集 & 表示機能の特徴

### ★フリーに書いた楽譜を清書

小節内の音符をきちんと間隔を揃え再配置する機能に加えて、曲途中の小節単位での挿入・削除が自在になりました。小節の挿入・削除をすると、後ろの段の小節を繰り上げたり、繰り下げたりして再レイアウトが可能になりました。

### ★レイヤー構造を採用 <V5アップデート機能>

8つのレイヤーに分けて入力表示ができるようになりました。  
1段の五線に複数のメロディが交差する場合に入力編集がやりやすくなりました。

### ★カーソルモニターによる入力確認 <V5アップデート機能>

作成した楽譜が正しく入力されているかを確認する作業は大切でかつ難しいものです。  
カーソルモニター機能を使えば、入力した楽譜にカーソルを置き、左右上下矢印キーで音符をなぞってモニター演奏ができるので、入力音符のチェックが楽にできます。また、チェック時にカーソルキーで音程が変更できますので、入力済み楽譜の修正が楽にできるようになりました。

### ★演奏時の音楽記号シンクロ表示 <V5アップデート機能>

演奏中は小節単位でシンクロ表示が行われますが、それに加えて音符単位で演奏シンクロ表示ができます。これにより、演奏されている音符にカーソル表示されるので、音の確認がしやすくなりました。

### ★何回でもできるアンドゥ <V5アップデート機能>

V5からは、メモリの許す範囲で、アンドゥは何回でもさかのぼることができるようになりましたので、安心して入力編集ができます。

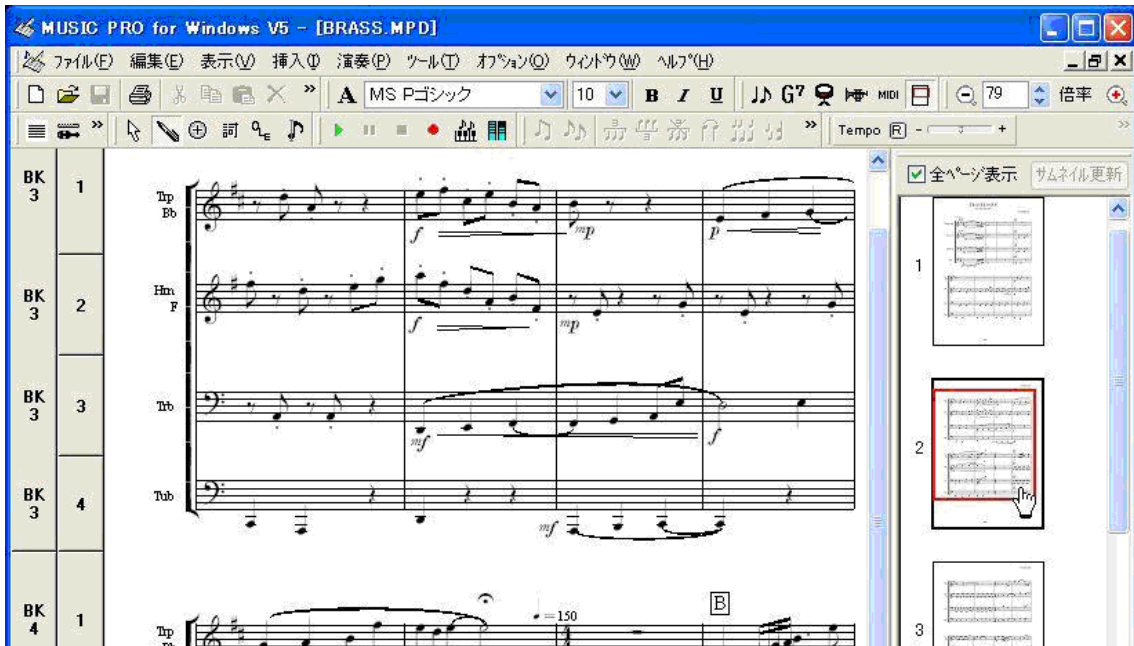
### ★音符や記号を楽に掴める <V5アップデート機能>

マウスカーソルが音楽記号の上を通過すると記号が反転表示されるので、そのタイミングで記号をつまむことができます。これにより、すべての編集作業が楽になります。

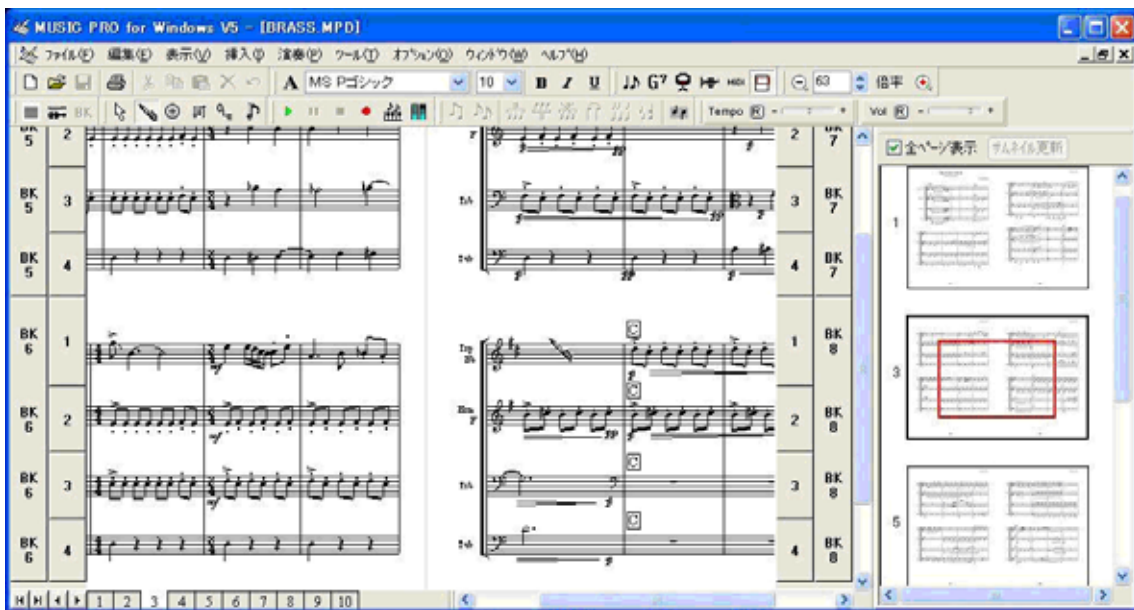
### ★全ページの楽譜サムネール、

#### 任意の拡大縮小や楽譜見開き表示機能 <V5アップデート機能>

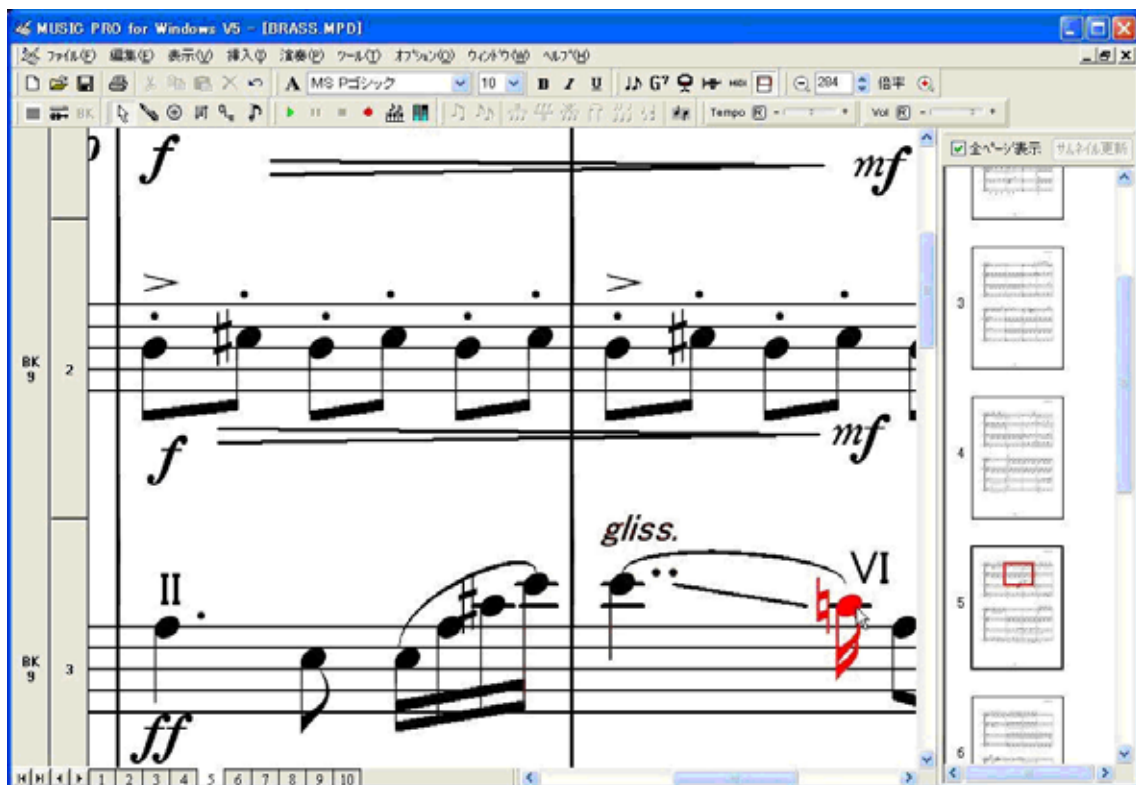
楽譜を見開き2ページで表示、入力、編集ができるようになりました。  
また、入力中の楽譜のみならず、すべてのページのサムネイルが表示されますので、任意のページの任意の箇所にすばやくジャンプし、任意の拡大縮小で入力編集が可能となりました。細部の入力編集に必要となる楽譜を拡大、ページ全体の把握に必要な縮小表示など、楽譜の任意の拡大縮小機能が便利です。



<図：右側には各ページのサムネールが表示されている>



<図：見開き2ページの楽譜が表示された状態>



＜図：サムネール上に表示された四角のサイズを変えると、囲まれた楽譜が拡大されたり縮小されたりする＞

★高さの不揃いを揃える <V5アップデート機能>

高さが不揃いの歌詞やコードネームなどを選択して揃えることができます。

●演奏機能の特徴

★男女の声でコンピュータが歌う <V5アップデート機能>

歌詞入力も自在です。さらにアドインソフトの「歌じまん」(※1)、「歌じまん2<ワンダーホルン>」(※2)を使えば、メロディに合わせてコンピュータに音声合成機能で歌わせることができます。V5からは歌じまん2を用いることにより女性のきれいな声で歌えます。

※1 「歌じまん」は、クリエートシステム開発㈱の“ドキュメントトーカ”の音声合成、歌機能をもとに、弊社が MUSIC PRO for Windows 用にカスタマイズしたものです。

※2 「歌じまん2<ワンダーホルン>」は、NTTアドバンステクノロジー㈱から提供された音声合成、歌機能をもとに、弊社が MUSIC PRO for Windows 用にカスタマイズしたものです。

★楽譜を解釈して MIDI 演奏機能

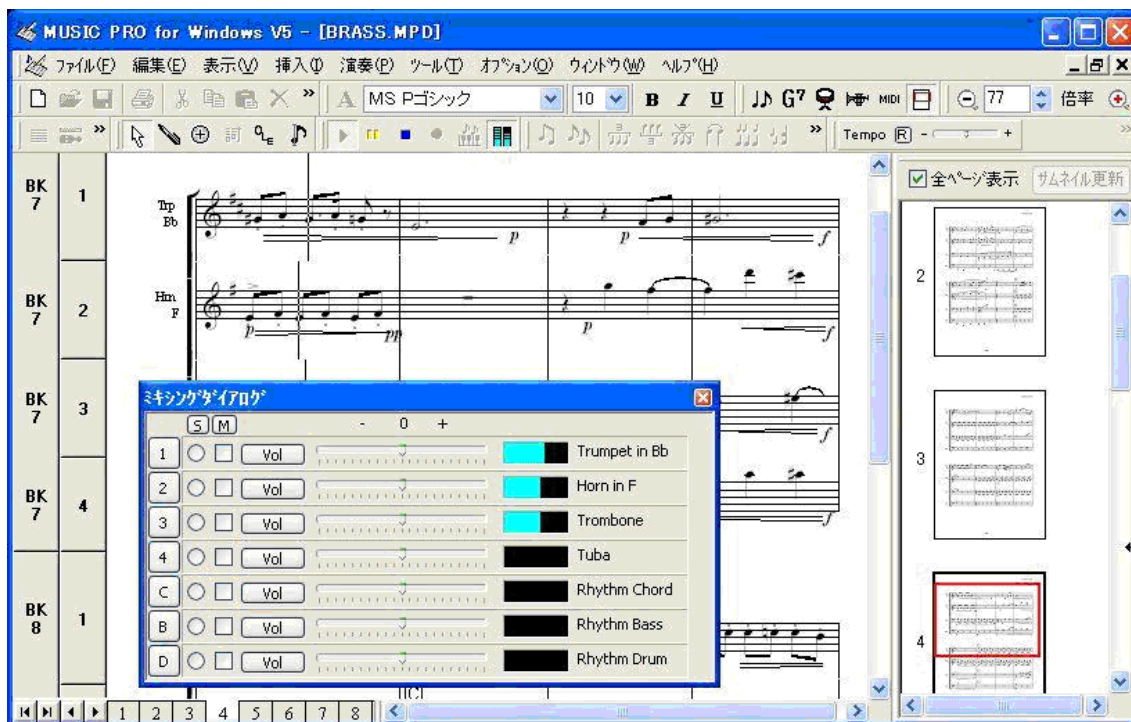
画面に自由に入力された音楽記号を、楽譜として判断、解釈し、内蔵音源、もしくは MIDI 音源で演奏を行います。トリルやアルペジオ、グリッサンドなどの音楽記号も演奏に反映させることができます。また演奏時には SWING させることもでき、これまでにはなかった演奏を楽しむことができます。

★多彩なリズムパターンとコードネームによる自動伴奏機能

またメロディに 400 種類の自動伴奏パターンから選んでバックিংをつけ、より曲らしくさせることも簡単にできます。

★演奏時のミキシング機能 <V5アップデート機能>

楽譜のパート毎に音量をミキシングできます。これにより自動伴奏の各パートの音量コントロールが簡単にできるようになりました。



<図：ミキシング機能で音量をコントロール>

●印刷機能の特徴

★携帯で読み取って聴ける QR コード付き楽譜印刷 <V5アップデート機能>

携帯電話の読み取り機能によって一躍普及した QR コード。ミュージックプロで作成した楽譜を印刷する際に、QR コードも付けて印刷できます。

そして楽譜の横に印刷された QR コードを携帯電話で読み取ることにより、携帯で音楽演奏することができます。これはまさしく音を奏でる楽譜（プリント）といえる画期的な機能です。楽譜が得意ではない人に楽譜を渡す場合などに、メロディを聴いてもらえることとなります。この機能は NTT-ドコモの QR コード読み取り機能付きの携帯電話のみ対応です。また QR コード化できるメロディの音数に制限があります。

# やさしい風

町田優子

NewAgePd  
♩ = 120

C G7 Am Em

mf  
Tomorro

F C 1. Dm7 G7

2. Dm7 D 3. G7 PolysyPd Gm C7 F  
FillIn3Mother

Fm B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> Fm G7  
Hello

Cm Dm7 3. G7  
D.C.

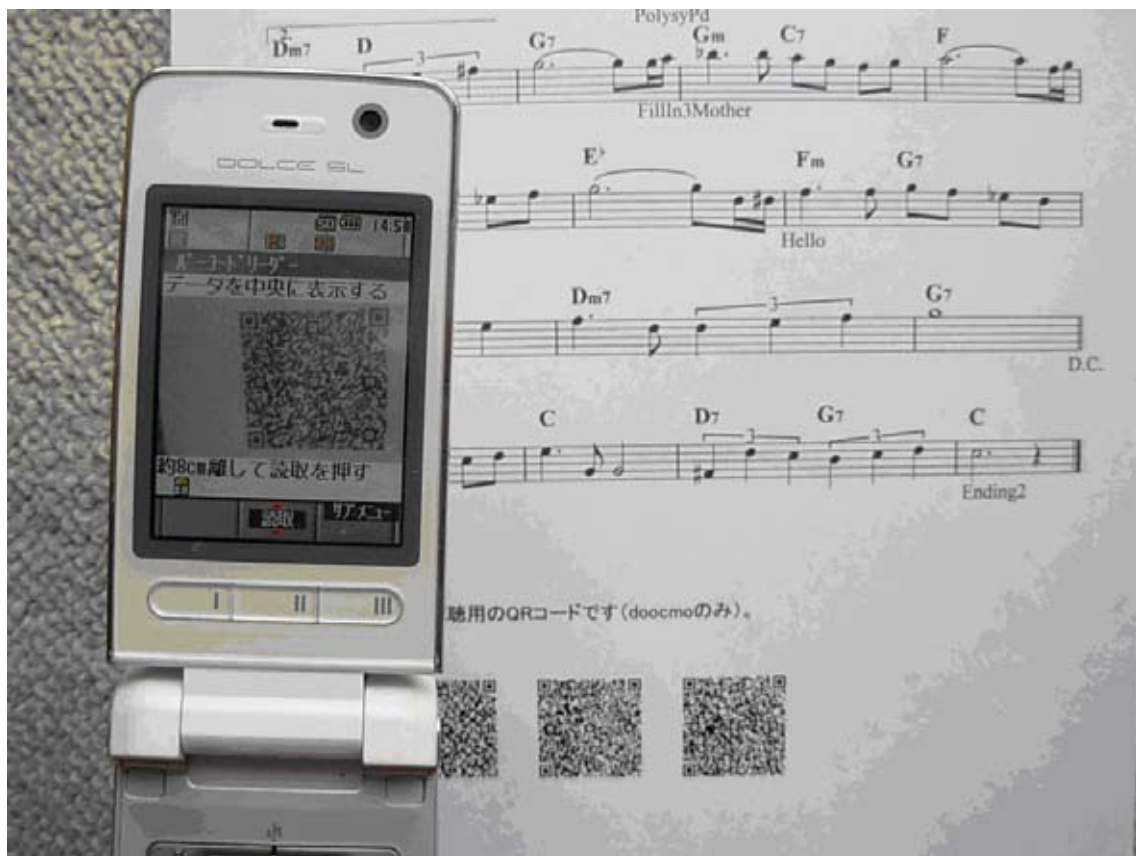
♩ Coda  
F C D7 3. G7 3. C  
Ending2

携帯電話用着信メロディ試聴用のQRコードです (docomoのみ)。

[NTT DOCOMO用]



<写真：QRコードが楽譜といっしょに印刷された例>



<写真：印刷されたQRコードを携帯電話で読み取るとメロディが聴ける。長いメロディはいくつかのQRコードに分割して印刷>

### ★スコアからパート楽譜の生成印刷

合奏用の総譜（スコア）を作成したら、印刷時にパート印刷ができます。

また、印刷の前にパート譜を別ファイルとして生成することもできますので、パート譜に移調や修正を加えて保存、印刷することもできます。

### ★拡大縮小印刷 <V5アップデート機能>

楽譜印刷時に余白を指定することにより、自動的に縮小拡大して印刷できるようになりました。

## ●作った楽譜データの活用

### ★楽譜の PDF ファイル生成機能 <V5アップデート機能>

作成した楽譜を PDF 形式のファイルに変換することができます。

これにより、PDF 作成ツールをお持ちではない場合でも PDF を作成できるようになりました。また、以前は PDF への変換も手続きは面倒でしたが、簡単に変換できます。

### ★ Word などワープロソフトへのメタ画像楽譜の貼り付け

作成した楽譜を Word や一太郎などの他のワープロソフトに TrueType フォントのまま貼り付け、楽譜入りの文章を作ることができます。自分のオリジナルの曲集を作ったり、学校では問題集を作ったり、いろいろな利用方法が考えられます。またテキストとしての楽譜フォントも用意しました。



＜図：パワーポイントへ楽譜をメタ画像で貼り付けた例＞

### ★ MusicXML ファイルでインターネット対応

ミュージックプロ・プラグイン「MusicXML ツール」がインストールされていると、作成した楽譜から MusicXML ファイルを生成することができます。

MUSIC PRO for Windows V4 シリーズで作った楽譜をインターネットのホームページに組み込み、MUSIC PRO for Windows V4 を持っていない人でも、インターネットブラウザ Internet Explorer 5.0 以上の環境で専用の楽譜ビューアー「MusicX」を使えば、その楽譜を表示させ、さらに演奏、アウトラインの楽譜印刷まで可能です。

作業手順は以下のようになります。

#### ■ 送り手側（ホームページ開発者）

- ①ミュージックプロ V5 シリーズで曲を創ります。
- ②作成した楽譜を“XML アダプタ”で、MusicXML ファイルを生成する。
- ③ホームページ作成ツールで、MusicXML ファイルを組み込み、ホームページを構築しているサーバーにアップする。

#### ■ 受け手側（ホームページの閲覧者）

- ①楽譜専用ビューアー「MusicX」（1.9MB）をダウンロードし、パソコンにインストールする。
- ②コントロールパネルの中、「マルチメディア」の「MIDI」をシンセサイザなどに設定する。
- ③インターネットに接続し、「MusicXML」が組み込まれているホームページで曲を聞いたり、楽譜をプリントアウトする。

- ※ 「XML アダプタ」は、MUSIC PRO for Windows で作成した楽譜を WEB 上で公開するために MusicXML ファイル化するためのアドインソフトです。
- ※ 「MusicXML」は、WEB 上で楽譜を公開するため、オリジナルで楽譜をインターネットの XML 言語に定義したものです。
- ※ 「MusicX」は楽譜をインターネット上で公開するための無償配布ソフトです。MUSIC PRO for Windows V シリーズの製品パッケージには含まれています。また弊社専用サイトなどから、どなたにでもダウンロードして利用することが可能です。
- ※ InternetExplorer5.0 以上で、「MusicX」をご利用できるのは Windows 版のみです。Macintosh 版の InternetExplorer や、NetscapeNavigator などには対応しておりませんので、ご注意ください。
- ※ なお XML アダプタ、MusicXML、MusicX は、経済産業省の外郭団体である IPA（情報処理振興事業協会）の「公募「次世代アプリケーションのための共通的な次世代情報技術」で採択された弊社案件をもとに商品化したものです。

### ★ミュージックプロ・シリーズの過去の楽譜データ活用

MUSIC PRO for Windows Ver.3.0 ～ MUSIC PRO for Windows Ver. 4. 2の楽譜データはもちろんのこと、以前の PC-9800 や FM-TOWNS のミュージックプロシリーズで作られた楽譜データも読み込んで編集可能です。

### ★標準 MIDI ファイルへの出力

作成した楽譜から業界標準になっているスタンダード MIDI ファイルを生成することができます。生成したスタンダード MIDI ファイルであれば、ミュージックプロ V5 を持っていない人にも曲を聞いてもらうことが可能です（Windows 標準のメディアプレイヤーなどで聴けます）。

## ■購入時のQ&A

### 質問：ミュージックプロはどのようなソフトなのですか？

「音の出る五線紙」と多くの方々にご支持をいただいています音符入力型作曲ソフトです。五線譜の上にマウスで音符や休符、強弱記号、繰り返し記号などの音楽記号を書き入れて楽譜を作成させて、パソコンのMIDI音源などで楽譜を演奏させることができます。さらにアウトラインフォントの美しい楽譜を印刷が可能です。最大で40パートまでのオーケストラ譜を作成でき、強力な移調機能や、自動伴奏機能などで、プロの作・編曲家から、一般の音楽愛好家の作編曲活動、楽譜制作をサポートしています。また、作曲や楽譜を学習するソフトとして長年、中学校や小学校での音楽の授業でも大活躍しています。

### 質問：他の楽譜作成ソフトとどこが違うのですか？

MUSIC PROの最大の特徴は、どこにでも好きなところに音楽記号を入れ、その結果をすぐに演奏に反映させることができることです。小節線も好きな位置に引き直すこともできます。また楽譜データをWordや一太郎などの他のワープロソフトで作成している文書に、楽譜をアウトラインフォントのまま貼り付けることができます。さらにインターネットの次世代言語XML(MusicXMLファイル)に保存でき、ホームページに楽譜を組み込むことができます。無償配布の専用楽譜ビューアー「MusicX」を使えば、MUSIC PROを持っていない人でもWindowsのInternet Explorer 5.0以上のブラウザ内で楽譜表示、演奏、アウトラインフォントの楽譜を印刷させることができます。また、バンドルソフトの「歌じまん」を使えば、歌詞を音声合成で唄わすことができます。

### 質問：MUSIC PRO for Windows を使うにはどのようなパソコンが必要なのですか？

OSとしてWindows XP、Windows Vista が組み込まれているパソコンが必要となります。起動条件をご参照ください。

ただし、Windows 98、Windows 98me もしくは Windows 2000 などのパソコンをお使いで、どうしてもこれらのパソコンで使わなければならない必要がある場合は、別途サポート係までお問い合わせください。

### 質問：Windows 95 でも使えますか？

どうしても Windows 95 でミュージックプロをご使用するには「MUSIC PRO for Windows Ver.3.0」の16ビット版をお使いください。MUSIC PRO for Windows V4、およびミュージックプロ V5 の機能はお使いいただくことはできません。

### 質問：メモリやハードディスク容量は？

メモリに関しましては、それぞれの Windows が快適に動作する容量が必要です。特に Vista ではメモリが不足しますと、ディスクアクセスが多くなり、演奏時のテンポの揺れなどの問題が起こる可能性が高くなります。

またハードディスクは空き容量が 100MB 以上必要となります。

**質問：以前のミュージックプロで作った曲データは使えますか？**

MUSIC PRO for Windows Ver.3.0 シリーズ、V4 シリーズで作成された楽譜データはもちろんのこと、PC-9800 シリーズや FM-TOWNS で作成された楽譜データも読み込み、編集することが可能です。ミュージックプロは 1988 年に発売以来、常に曲データは上位互換を保っています。編集し、保存をすると、これまでの SCO 楽譜データは MPD 楽譜データとなります。ただし FM 音源で作ったデータなどは、MIDI 音源で演奏させると曲のイメージがかなり異なって聞こえます。これは音源が変わったためですので、再度その曲に合った音色やリズムを付け直してください。

**質問：スタンダード MIDI ファイルを読み込んで譜面化できますか？**

PLUS 版だけの機能となります。ただしスタンダード MIDI ファイルへの保存は PLUS 版を始め、標準版、小学生版とも可能です。演奏データをスタンダード MIDI ファイルに保存してメールで送ったり、ホームページに貼組み込んで BGM などにご利用いただけます。

**質問：スタンダード MIDI ファイル (SMF) を読み込んで、どの程度譜面化できるのですか？**

一般に市販されているスタンダード MIDI ファイル (SMF) の曲集などは、純粋な演奏データですので様々な方法で作られています。PLUS 版できれいに譜面化できるのは、譜面化を前提にして作られたスタンダード MIDI ファイルのみとなります。ポリフォニックパートがあったり、複雑な和音があるもの、ピアノ譜などは、期待していたイメージと大きく異なって楽譜化されることがあります。あくまでも楽譜作成の補助手段としてお考えください。

**質問：MIDI キーボードから楽譜作成はできないのですか。**

V4 までは、パソコンに MIDI キーボードをつないで譜面入力できるのは PLUS 版だけの機能でしたが、V5 からはひとつの版にまとまりましたので、MIDI キーボードからのリアルタイム入力と、ステップ入力ができます。キーボードに慣れている方は、マウス入力よりもずっと速く、効率のいい楽譜作成ができます。特に単旋律を入力する場合は、かなりきれいな楽譜が自動的に生成されます。

**質問：ヤマハの HELLO! MUSIC! for EDUCATION を使っていたがミュージックプロとの関係は？**

ヤマハ(株)から発売されていましたが「HELLO! MUSIC! for EDUCATION」にバンドルされている MUSIC PRO は、弊社からヤマハ(株)に OEM 提供していたものです。

HELLO! MUSIC! for EDUCATION の MUSIC PRO のサポートも弊社で行っております。

そして今回、「HELLO! MUSIC! for EDUCATION」が廃版となりまして、ヤマハ(株)より、その旨とミュージックプロのご案内が送られると思います。よろしければ、この機会に、「HELLO! MUSIC! for EDUCATION」をご利用されていた方には、ミュージックプロへ乗り換えされることをお勧めいたします。

**質問：学校で導入したいのですが？**

学校でのご使用のためには、校内フリーライセンス版をお勧めいたします。購入された学校内に設置されたコンピュータには台数の制限なしにインストールできます。

**質問 : どこで買えますか？**

お近くのパソコンショップや楽器店などにご注文ください。大きなパソコンショップのDTMコーナーには置かれている可能性もございますが、電話であらかじめご注文された方が確実です。なお定価になりますが、弊社ホームページの「ショップ」でもお求めいただけます。今すぐに欲しいという方や、お近くにパソコンショップなどが無いという方はご利用いただければ幸いです。

また、今回よりダウンロード販売を始めました。インターネットをご利用いただいている方にはぜひお勧めいたします。

なお校内フリーライセンス版は学校のパソコンやソフトをサポートされている業者にお尋ねください。

**質問 : ミュージックビルダーが付きますか？**

MUSIC PRO V4の発売時に行っていました「ミュージックビルダー」の同梱サービスは、ミュージックプロV5では行いません。「ミュージックビルダー」はそのままの継続販売です。別途のご購入をお願い申し上げます。